

入学式

大学・大学院



メディアプロデュース学部
メディアプロデュース学科

紅林真人さん

高校時代、図書委員会の活動に熱中し、出版社で働きたいと考えていた私に、高校の先生が勧めてくださったのが愛知淑徳大学でした。大学では日本語表現科目やクリエイティブライティングコースの授業、クラブでの創作活動に励み、「書くこと」を極めたいと考えています。また、他学部開放科目を通して心理学など他学部の学びにも触れ、さらに、学部を越えた人脈作りも大切に、社会人としての素養を身につけたいと思います。

サッカーを始めたばかりの中学生のとき、顧問の先生が真剣に向き合って指導してくれたことが心に深く残り、体育教員への志を固めました。その目標を実現していくスタートラインに立った今、教職課程科目を中心に運動や心身の健康に関する専門知識を身につけ、また、教員採用試験対策にも早めに取り



健康医療科学部
スポーツ・健康医科学科
飯牟禮秀仁さん

組みたいと考えています。4年間、学部の仲間と共に学び合い、高め合って、教員に求められる人間性も豊かに養いたいと思います。



文学部
教育学科
広瀬美保さん

高校2年生の頃から教職を志し、愛知淑徳大学の教育学科への進学を希望しました。オープンキャンパスで模擬授業に参加し、子どもに科

学を教える楽しさを伝える理科の実験を学び、「私も子ども目線で授業ができる教員になりたい」とめざす教員像が明確になりました。大学では教育に関する専門知識を修得することはもちろん、英語のスキルアップ、ボランティア活動、部活動などにも力を注ぎ、教育現場で役立つ力を培っていきます。

ビジネスについて幅広く学んで将来の目標を明確にし、その実現に必要な知識やスキルを着実に身につける。そうしたカリキュラムに惹かれ、ビジネス学部を志望しました。これから4年間、金融やマーケティングなどの専門的な授業だけではなく、資格取得、地域でのボランティア活動などにも励み、社会を見



ビジネス学部
ビジネス学科
王振銘さん

据えて学びを広げ、深めていきます。そして人との出会いを大切にしながら、自分の道を切り拓いていきたいと思っています。



交流文化学部
交流文化学科
岩崎大夢さん

アメリカやオーストラリアからの留学生がホームステイしていた高校生の頃、初めて「生きた英語」に触れました。英語で思いを理解し合

えたことに感動し、世界に通用する語学力を身につけたいと意欲が高まりました。交流文化学部では、TOEICスコア860点以上をめざすレベルの高い授業を通してスキルアップに励み、留学にも挑戦したいと思います。また、小学生の頃から熱中しているサッカーも続け、学生生活を充実させていきます。

福祉に興味を持ったのは、高校生のときにメイクセラピストの方の講演を聞いたことがきっかけです。メイクで人を笑顔にしていく仕事に深い感銘を受け、その道に進むために大学で福祉を学ぼうと決めました。これから社会福祉士をめざして専門性を身につけ、メイクの技術も自分で積極的に磨いてい



福祉貢献学部
福祉貢献学科 社会福祉専攻
永田もえさん

たいと思います。また、ダンスサークルに所属し、高校生のときに憧れた大学祭のステージに立つことも、学生生活での目標です。

第37回(平成24年度)入学式
4月2日(月)名古屋国際会議場センチュリーホール
学部入学生2171人 研究科入学生38人

式次第

愛知淑徳学園祝典序曲／ファンファーレ・大学歌／開式の言葉／入学許可／学長式辞／来賓祝辞／入学生代表誓いの言葉／閉式の言葉





野矢安那さん

小学校4年生のときから愛知淑徳中学校に入学することが目標でした。志望する気持ちが強くなったのは、オープンスクールできれいな

校舎を見たり、音楽の授業を楽しく受けたりしたことがきっかけでした。入学できて本当に嬉しくて、勉強も部活も頑張りたいという思いがあらわれています。今日、正門で出迎えてくれたバントワーリング部の演技に感動したので、ぜひ入学して来年は迎える側として入学式に参加したいと思っています。

志望していた愛知淑徳中学校に合格して、今日、新しい制服を着て初登校し、嬉しい気持ちでいっぱいです。美術などに興味があるので、文系の部活に入って好きなことを極めたいと思っています。勉強面では、中学校から初めて習う英語の授業に力を入れて、得意科目になるように頑張ります。将来の夢は、小



日比彩花さん

説などの文学を研究する文学生になることです。そのために中学時代からたくさん知識を身につけていきたいと考えています。

中学校



人間情報学部
人間情報学科
水谷沙良さん

心理学の知識を活用した「モノづくり・システムづくり」について学べるところに魅力を感じ、人間情報学部への入学を希望しました。オー

ブンキャンパスにも意欲的に参加し、先輩方に授業内容などを聞いて、人の心の動きを分析・測定する実践的な学びに強い関心を抱きました。就職を見据え、資格取得などにも挑戦しながら社会で活躍するさまざまな知識やスキルを身につけ、将来は商品開発の仕事に携わりたいと考えています。



上愛佳さん

初めて愛知淑徳中学校に行ったオープンスクールで、「きれいな校舎が並ぶこの学校で毎日勉強したい」「先輩たちみたいに部活を思いきり

楽しみたい」と思い、受験を決めました。中学校で特に力を入れたいことは、大好きな数学の勉強です。授業に真剣に取り組んで、考える力や解く力を伸ばしたいと思っています。そして、友達や先生と一緒に辛いことも乗り越えて、成長していくことができる学校生活になるように頑張ります。

オープンスクールでジュースづくりの実験にチャレンジし、理科のおもしろさを実感しました。その経験を通して愛知淑徳中学校の授業に強く興味を持って、ここで学びたいと思うようになりました。今、医者になりたいと憧れていますが、これから中学校でさまざまなことを勉強し、視野を広げて、自分の将



澤田和奏さん

来の道をじっくりと選びたいと思います。また、ソフトテニス部に入り、友達もたくさん作って、楽しい学校生活にしていきたいです。

第67回(平成24年度)入学式 4月6日(金)中央棟大アリーナ 入学生284人



心理学部
心理学科
古屋志織さん

科学的な視点から心を探る生理・認知心理学を中心に、4年間を通して心理学を幅広く学びたいと思っています。脳波測定などの実験に

取り組み、統計処理やデータ分析のスキル、専門知識を実践的に身につけていくことが目標です。心理学以外に海外にも興味があるので、国際交流センターのサポートを活用して留学にもチャレンジします。常に目的意識を持ってさまざまな経験を積み、自分にとって最良の進路を見つけたと思っています。



柰津貴子さん

オープンスクールに来たとき学校の雰囲気も先輩たちもとても明るくて、入学を希望しました。これから始まる私の学校生活も明るく楽し

くなるように、友達をたくさん作り、毎日の授業や学校行事、部活など何事にも全力で取り組みたいと思います。部活ではバントワーリング部などスポーツ系に興味があります。いろいろな経験を重ねていく中で将来の目標を決めて、その実現に必要な力も身につけていきたいと思っています。



式次第

開式の辞／学校長式辞／理事長祝辞／PTA会長祝辞／来賓紹介／校歌披露／閉式の辞



文学研究科 文学専攻
図書館情報学コース
松本佳奈さん

図書館情報学科での4年間の学びの集大成として、明治時代につくられた『明六雑誌』に関する卒業研究に取り組みました。『明六雑誌』の索

引を手掛かりに情報を収集していく中で、より時間をかけて研究を深めたいと思い、大学院への進学を決意しました。これからは大学で培った専門性や思考力、分析力などを活かし、人と人のつながりをたどりながら、日本に限らず世界の雑誌の黎明期についても紐解いていきたいと考えています。

卒業式

大学・大学院

第34回(平成23年度)卒業式

3月19日(月)名古屋国際会議場センチュリーホール
学部卒業生1779人 研究科卒業生56人

式次第

開式前演奏／開式の言葉／学位記授与
学長式辞／来賓紹介／来賓祝辞
在学生代表送辞／卒業生代表答辞
大学歌斉唱／送別の歌合唱／閉式の言葉

教職への志を胸に、教育学科の授業はもちろん、副専攻プログラムを活用して現代社会学部での授業も受講し、小中高すべての教育について学びました。教員採用試験対策にはゼミの仲間と共に励み、京都府の試験に合格。4月から小学校教員として、笑顔・元氣・根性を大切にして子どもたちと向き合っています。



文学部
教育学科
松尾侑さん

す。在学中、子ども対象のイベントやミュージカルを仲間とつくり上げた経験が、教育現場での力になると信じています。

大学2年生のときにゼミ活動の一環として沖縄でフィールドワークをおこない、竹富島の魅力に惹きこまれました。大学院にも進んで竹富島のまちづくりやまち並み保存について研究し、人から人へ受け継がれるものの尊さ、自分と向き合う生き方など、人として大切なことも学びました。5年間、親身にご指導く



現代社会研究科
現代社会専攻
地域・国際社会コース
森下愛子さん

ださった谷澤明先生に深く感謝しながら、今後は長久手市の職員として地域の方々と力を合わせ、よりよいまちづくりに努めます。

現代社会学部の授業で印象深いのは、ケーススタディの授業です。企業研究に取り組み、実社会を知るとともに自分の進路についても考えました。さらにゼミではプレゼンテーションの機会が多く、伝える力が養われたと感じています。また在学中は学会の活動にも励み、仲間と協



現代社会学部
現代社会学科
安間友祐さん

働する力を培いました。こうした学びや経験を活かし、就職先のスズキファイナンスでは多くのお客様の力になりたいと考えています。



ビジネス学部
ビジネス学科
才間恵一さん

人と人の関係性や人の心の動きについて「消費」という経済活動から考察したいと思い、ビジネス学部に入學しました。授業やゼミなどで多

様な価値観を持つ仲間と共に学んだことは、視野を広げ、人間関係に対する考えを深める貴重な経験になりました。卒業後は、東京慈恵会医科大学の職員として働きます。学生一人ひとりが社会人に必要な力を養い、それぞれの道を切り拓くことができるように支えていきたいと思っています。



コミュニケーション学部
コミュニケーション心理学科
小栗慶子さん

心理学の勉強、発達心理学のゼミでの親子関係に関する研究、商社でのインターンシップなどに取り組んだ、充実した4年間でした。学業以

外で力を注いだのは、東日本大震災のチャリティー活動です。友人と共にプロジェクトを立ち上げて被災地にも行き、自分から積極的に働きかけることの大切さを実感しました。その気持ちを東京海上日動火災保険に入社してから忘れず、お客様の力になれるよう成長し続けたいと思っています。



高等学校

第64回(平成23年度) 卒業証書授与式

3月1日(木) 中央棟大アリーナ 卒業生279人

式次第
開式のことば／校歌斉唱／卒業証書授与
皆勤賞授与／学校長式辞／理事長祝辞
同窓会長祝辞／祝電披露／在校生送辞
卒業生答辞／唱歌／閉式のことば

中高の6年間を通して続けたバントワーリング部の活動の中で、人としての「強さ」を身につけることができました。その原点にあるのは、



川出早紀さん

中学時代、個人の大会で思うような成績を残せなかったときに感じた悔しさです。人並み以上の努力を積み重ねた結果、高校時代にも全国大会に出場し、納得のいく成績を残すことができました。進学先は、愛知医科大学医学部です。医療という分野で自分をさらに成長させたいと思います。



文学部
英文学科
牧奈津子さん

ネイティブの先生による実践的な授業やアメリカ留学、学内での留学生との交流などを通して英語力の向上に励み、TOEICスコアが350点も伸びました。さらに、小学校での英語教育のボランティア、キャリアセンターの学生スタッフとしての活動、企業の方とも交流したファッションサークルでの活動などさまざまな人に出会い、人としても成長したと感じています。こうした経験を、就職先のトヨタ自動車での仕事にも活かしていきます。



コミュニケーション学部
言語コミュニケーション学科
木島夕貴さん

在学中、少人数制の実践的な授業やカナダへの長期留学を通して英語力の向上に力を注ぎ、TOEICスコア800点を達成。さらに中国に2回留学して中国語も習得しました。またフラダンスサークルを立ち上げ、仲間と共に練習に励んで大学祭などのイベントで楽しく踊りました。何事にも意欲的に挑戦し、貴重な経験を積むことができた学生生活を糧に、今後は小牧市の職員として市民の皆様の心豊かな暮らしに貢献したいと思っています。

中高の6年間を通じて力を入れたのは、吹奏楽部の活動です。定期演奏会や大会出場を目標に、毎日厳しい練習に励んできました。部活動を通して身についたのは、積極的に物事に取り組む姿勢です。仲間との関わりの中で、自分から相手の気持ちに働きかけることの大切さを学びました。卒業後は同志社大学文



林恭子さん

学部に進学し、歴史を専門的に学ぶ予定です。世界のさまざまな国の歴史に触れ、自分の視野を大きく広げたいと思います。

高校時代は生徒会活動に力を注ぎ、3年生の前期には会長を務めました。その中で特に印象深いのが、東日本大震災後に学校内で義援金を集



浦邊綾子さん

め、夏休みに仙台の高校まで届けに行ったことです。同年代の生徒たちが辛い状況乗り越えようとしている姿に接したことが、自分の人生や世の中について見つめ直すきっかけになりました。進学先は、愛知淑徳大学心理学部です。臨床心理学を学び、人の心を支えるための専門性を磨きたいと思っています。



たくさん良い友人に恵まれ、充実した学校生活を送ることができた6年間でした。高校ではバスケットボール部のキャプテンを務めるなど、人間としての成長につながる多くの経験を積むことができました。また、高校の授業で生物や化学の面白さを知ったことがきっかけで、岐阜大学の応用生物科学部への進学



平林佳恵さん

を決めました。その興味を大きく広げて研究に力を注ぎ、将来は専門性を活かして食品や医薬品の分野で働きたいと考えています。

中学・高校と演劇部に所属し、舞台装置作りを担当してきました。たとえば和の世界を表現するためにふすまや障子も作るなど、細部にまでこ



井澤萌さん

だわって舞台を創り上げていくことに、奥深さややりがいを感じました。また、学園祭のときにクラスの仲間と協力してミュージカルを上演したことも生涯の思い出として心に刻まれています。京都大学教育学部に進学した後、6年間を通して出会った人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。